議事(2)「都市基盤整備」について

(1)公園・緑地

【現状と課題】

- 都市空間における緑は、暮らしにゆとりや潤いを与えるとともに、景観の形成や環境保全、防災や市民活動などの幅広い面において市民生活を支え、豊かなものにしていく機能を有している。
- 本市では、「緑の基本計画」などに基づき、帯広の森や緑ヶ丘公園をはじめとする公園 や緑地の計画的な整備により、公共緑地の確保がすすんでいるほか、町内会等の多くの市 民団体との協働により、樹木の育成や花壇の整備などをすすめてきている。
- しかしながら、老木化の進行による街路樹の倒木や交通障害の発生が懸念されるほか、 公園施設、設備の老朽化が進行している状況にある。
- 今後は、これまで蓄積してきた緑の空間を効果的に活用し、量的拡大から質的充実の視点をより一層重視しながら、市民主体による緑化活動の推進や公園緑地の効果的な利活用、 適正な維持管理などにより、緑の環境づくりをすすめることが必要となっている。

【第六期帯広市総合計画における主な取り組み】

- 公園・緑地の整備(街区公園、近隣公園、都市緑地 など)
- 公園施設の健全度調査、長寿命化計画の策定
- 公園施設のバリアフリー化、長寿命化
- 公園施設の維持管理
- 街路樹の健全度調査、剪定・更新
- 帯広の森の整備、利活用
- 帯広の森・はぐく一むの整備、維持管理
- 市民協働による緑化の推進(花壇コンクールの実施、モデルガーデンの造成 など)
- 河川緑地の整備、災害復旧

【今後の取り組みの方向性】

○ 市民主体による緑化活動の促進や、公園・緑地等の整備、適切な維持管理などにより、 緑の環境づくりをすすめる。

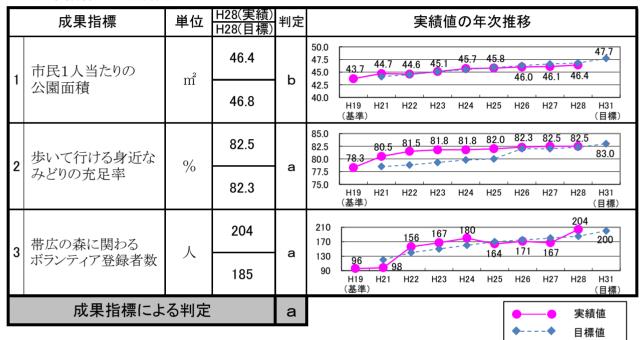
<論点例>

● 持続可能な地域づくりをすすめるために、緑の管理、利活用をどのようにすすめるべきか。

平成29年度 施策評価表

総合計	ŧ	まちづくりの目標		4 自然と共生するまち	評価担当部	都市建設部	
			政策	4-2 うるおいのあるまちづくり			
画			施策	4-2-1 公園・緑地の整備	関係部		
体系			施策の目標	公園・緑地の整備や市民による緑化活動 花と緑の環境づくりをすすめます。	を支援し、市	民と行政の協働により、	

1. 成果指標による判定



2. 成果指標の実績値に対する考え方

「市民1人当たりの公園面積」は、前年より0.3㎡増加しましたが、目標値を下回っています。一部の公園の用地取得に時間を要していることが要因となっています。

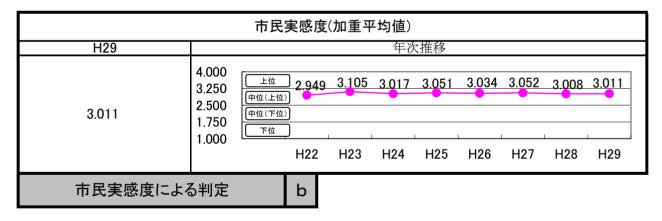
「歩いて行ける身近なみどりの充足率」は、公園や緑地の整備を順調にすすめてきたことにより、目標値を上回っています。

「帯広の森に関わるボランティア登録者数」は、前年より37人増加し、目標値を上回っています。森づくりの担い手である市民団体の新規登録が2団体あったことが要因と考えます。

3. 市民実感度による判定

Ī	設問 公園、街路樹などが良好に管理され、身近に緑や花に親しむことができる								
	回答	H29 回答数 構成比		0 25 50 75 100					
1	そう思う	224	30.3%	30.3					
2	ややそう思う	325	43.9%	43.9					
3	あまりそう思わない	138	18.6%	18.6					
4	そう思わない	39	5.3%	5.3					
	無回答	14	1.9%	1.9					
	合計回答数	740							

上	:記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H: 回答数	29 構成比
а	身近なところに緑に親しめる公園が少ないから	24	15.2%
b	身近なところに緑が少ないから	10	6.3%
С	公園の管理が十分に行われていないから	36	22.8%
d	街路樹の管理が十分に行われていないから	46	29.1%
е	緑化に関する意識が低いから	25	15.8%
f	その他	17	10.8%
	有効回答数	158	_



4. 市民実感度調査結果に対する考え方

市民実感度は、「そう思う」と「ややそう思う」の合計回答数の割合が74.2%となっており、中位(上位)にあります。帯広の森をはじめとする公園や緑地の整備・管理、市民協働による都市緑化や花苗の植栽などの取り組みが一定程度、市民に評価されたものと考えます。

一方、「そう思わない」と「あまりそう思わない」を選んだ理由としては、「街路樹の管理が十分に行われていないから」の割合が29.1%と最も多くなっています。樹木の成長に伴い、歩行や車両通行の妨げとなるなど、一部で市民生活の支障となる事例が発生していることが要因と考えますが、これまで市民の要望を踏まえながら、優先順位をつけ剪定等を行ってきており、回答割合は減少傾向にあります。

〇公園・緑地の整備

(1) 都市公園の整備状況

○ 平成30年度末の公園整備状況は以下のとおりとなっており、都市計画区域内における 1人当たりの公園面積は46.59%となっている。

公園緑地総括表(平成29年度末)

公园秘电标台表(十成29年及木)								
公園種別			計画公園	開設公園	備考			
基幹公園	住区基幹公園	街区公園	143 箇所 31.95 ha		箇所 ha 数が多く市民生活に最も身近な公園(0.25ha程度の面積)			
		近隣公園	16 箇所 40.87 ha		箇所 近隣に住む人の利用を目的とした公園で、街区公園より少し広 ha い範囲内に街区公園の8倍ほどの広さを備えた公園			
		地区公園	5 箇所 33.03 ha	5 箇	街区・近隣公園よりさらに大きい公園で、自然環境を保全する ha などの地域の特徴を活かした公園(4ha程度の面積)			
	都市基幹公園	総合公園	2 箇所 456.97 ha	2 箇	箇所 住民全般の休息、鑑賞、散歩、運動等総合的な利用を目的と ha した公園(緑ヶ丘公園、帯広の森)			
		運動公園	1 箇所 671 ha	_	箇所 住民全般の主として運動を目的とした公園('十勝川水系河川 ha 緑地)			
	見模 ·園	広域公園	-	-				
	都下	 持緑地	33 箇所 78.48 ha	_	箇所 自然環境の保全ならびに改善、都市景観の向上をはかるため ha の緑地('大山緑地など)			
		計	200 箇所 1312.3 ha		箇所 ha			
特殊公園		墓園	3 箇所 79.84 ha	_	箇所 緑ケ丘墓地など ha			
合計			203 箇所	200 箇				

都市計画区域内人口 162,100 人 1人当たり公園面積 46.59 ㎡/人

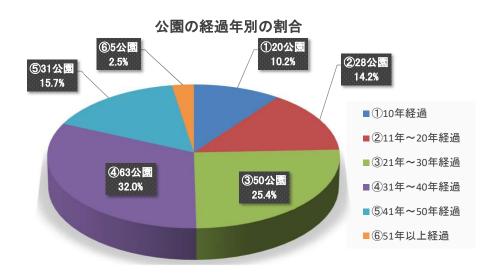
*参考: まちづくり通信2017より抜粋

1392.14 ha 755.28 ha



(2) 公園施設の経過年数

- 帯広市内で供用されている197公園の開設からの経過年数を以下に示す。
- 平成30年度には開設から31年を経過した公園数が全体の50.2%と半数を超過した。



(3) 街路樹の状況

- 国道、道道、市道を合わせた182.5kmの延長に約31,000本の街路樹が植栽されている。
- 街路樹の適切な維持管理を目的に、平成25年からこれまで5,279本を診断し、倒木の危険があると診断された386本の伐採を実施した。

年	度	H25	H26	H27	H28	H29	H30 (予定)
診断数	(本)	954	1,104	1,036	1,113	1,072	500
伐採数	(本)	87	106	77	61	55	47
経過観察	(本)	219	197	123	36	23	診断による



